

ACOUSMATIC MUSIC FESTIVAL

アコースモニウム・サウンド・プロジェクションによるライブ公演
24チャンネル・スピーカー・オーケストラ

MOTUS
FUCKALOOP
CCMC2005



ACOUSMA

“ドゥニ・デュフルが仕掛ける音楽プロジェクトは、芸術性豊かな国際的レパートリーで溢れ、この知られざる新しい音楽分野に熱い情熱をそそぐ、多くの若者を生み出している。”
ピエール・アンリ

“MOTUSのようなアコースモニウム・サウンド・プロジェクションは、世界中どこを探しても見つからない。日本でもアメリカでもヨーロッパでも!電子音響音楽の演奏を目的とするこのシステムは、新しいアートの創作意欲を大いにかきたて、スタジオ生まれの音楽が新たな命を授けられている。”
リュック・フェラリ

2005年2月18日～21日 会場: 東京日仏学院エスパス・イマージュ(飯田橋)
2005年2月22日 会場: 東京電機大学理工学部(鳩山キャンパス)
2005年2月24日、25日 会場: 日仏会館ホール(恵比寿)

主催: 東京日仏学院、音と音楽・創作工房116(ACSM116)、MOTUS
協賛: オタリテック株式会社(GENELEC)、サントリー株式会社、
東京電機大学、Bureau Export
協力: Air France
後援: フランス大使館
技術協力: Sound Office

L'INSTITUT
東京日仏学院



MOTUS

OTARITEC

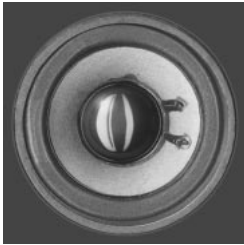
GENELEC

SUNTORY

TDU 東京電機大学
TOKYO DENKI DAIGAKU

Bureau EXPORT
DE LA MUSIQUE FRANÇAISE A TOKYO

AIR FRANCE



2005年2月18日～21日 東京日仏学院エスパス・イマージュ 16チャンネル・スピーカー・オーケストラ・アコースモニウム

18日(金)

19:00

オープニング・コンサート ジョナタン・ブラジェによるアコースモニウム・ライブ

プログラム:P. シェフェール「Etude pathétique」/L. フェラリ「Presque rien avec filles」/
F. ベル「Vibrations composées」より/D. デュフール「Panique au bord de l'eau」

19:45

映画上映

1959年「一人の男のための交響曲-Symphonie pour un homme seul」(P. シェフェール, P. アンリ, L. キュニ, M. ベジャール・バレエ団)、その他アコースマティック・ミュージックと映像のエクスペリメント映画を上映(フランス国立視聴覚研究所INAのアーカイブ)



19日(土)

18:00

MOTUS夏期アトリエ2004パリ・コンサート

新作アコースモニウム・ライブ

プログラム:山内さおり「Mirage-蜃気楼」/Shun OKUBO「Chapelle ND de Ronchamp-ロンシャンの礼拝堂」/金井勇「entrainement et influence-誘発と感化」/渡邊愛「à tes amours-アテザムール」/うぶかたさぶろう「conscience-明晰な朦朧」/さとうじゅんこ「rengga」/長嶋洋一「Coin's Journey」

19:30

演奏アコースモニウム・ライブ(カッコ内はアコースモニウム演奏者)

プログラム:B. パルメジアニ「Sonare」より(内藤正典)/D. デュフール「12 mélodies acousmatiques」より(塩野衛子)/G. ガブリエル「Persephonie」より(柴山拓郎)/F. ベル「Camera obscura-sept préludes」より(宮木朝子)/B. フェレラ「La rivière des oiseaux」より(志賀浩義)/D. デュフール「Terra incognita」より(葛西聖憲)/D. デュフール「Caravaggio」(鶴田聖子)



20日(日)

17:00

CCMC2005公募入選作品コンサート

プログラム:小林主馬「灰と虹」/知久千春「時の道」/渡邊崇「三角コートヤード」/須田康子「おもいで」/長瀬元「雑踏のただなか、模倣を続ける鳥形ピアノ」/かつふじたまこ「WRAP」/金子雄大「ESCAPE」/森田信一「UME」/山本雅一「Mindscape」/武野晴久「火花」

18:30

ドゥニ・デュフール氏によるACSM116賞受賞者発表、授賞式

19:00

Motus acousma コンサート アコースモニウム・ライブ

プログラム:トマ・ブランドーのテキストを用いたアコースマティック作品シリーズ

B. マクシム「Matteo au bord de l'eau」/O. ラマルシュ「Nîmes est-elle une île」/V. ローブッフ「Aux cercles réunis」/J. ブラジェ「L'Ange dans la nuit」/檜垣智也「新作」/D. テルッジ「Juste une bête」/D. デュフール「Flèches」

アコースモニウム演奏: Motusの檜垣智也、ジョナタン・ブラジェ



21日(月)

19:00

Motus×Fuckalooop (Hip Hop) クロスオーバーライブとトーク

プログラムMotus:D. ベアー「Ouvrir une brèche/la peur」/A. ポワソン「Catacombe」/I. マレック「Triola ou Symphonie pour moi-même」より

アコースモニウム演奏:オリビエ・ラマルシュとジョナタン・ブラジェ

プログラムFuckalooop:新作

アコースモニウム演奏:TacteelとPara one

会場:東京日仏学院エスパス・イマージュ

チケット:4日間共通券(2月18日～21日)¥2,000円 1日券 ¥1,000円

お問い合わせ:03-5261-3933 東京日仏学院 <http://www.institut.jp/>

2005年2月22日(火) 東京電機大学理工学部(鳩山キャンパス)

13:30 東京電機大学理工学部 情報社会学入門セミナー
レクチャー・コンサート「電子音響音楽の歴史とアコースモニウム」
講師:ドゥニ・デュフル(作曲家)、ジョナタン・プラジェ(作曲家・アコースモニウム演奏家)
通訳:成田和子(同志社女子大学助教授)

会場:東京電機大学理工学部(東武東上線高坂駅下車バス8分)12号館アトリウム
入場無料 お問い合わせ:049-296-2911(代)東京電機大学理工学部情報社会学科
<http://www.cse.dendai.ac.jp> e-mail:takuro@ia.dendai.ac.jp



2005年2月24日、25日 日仏会館ホール 24チャンネル・スピーカー・オーケストラ・アコースモニウム

24日(木)

18:00 レクチャー・コンサート「アコースマティック作品の演奏法について-
24チャンネル・アコースモニウム」
講師:ジョナタン・プラジェ(アコースモニウム演奏家)

19:30 CCMC2005アコースモニウム・ライブ I

プログラム:岡本久「Polling」/由雄正恒「24-no-hitomi -24ノヒトミ」/吉原太郎「airflow-
空から」/足本憲治「Inertia II -慣性 II」/向山千晴「esperanza- エスペランザ」/F. ベル「Jeïta」
より/D. デュフル「Notre besoin de consolation est impossible à rassasier」より/L. マル
ケッティ「RISS (L'avalanche)」
アコースモニウム演奏:作曲家および、塩野衛子、志賀浩義、檜垣智也、鶴田聖子

25日(金)

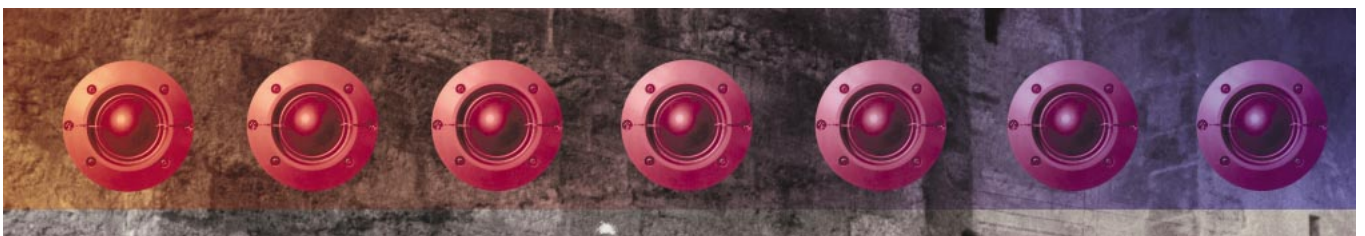
18:00 CCMC2005アコースモニウム・ライブ II 自作自演

プログラム:うぶかたさぶろう「The Fragment of Glass」/ウエヤマトモコ「2005/02/25」/
内藤正典「Etude」/さとうじゅんこ「水伯(仮題)」/福原聡太郎「Not Rat Trip-ねずみじゃない
冒険」/宮木朝子「Lithokronos 2-リトクロノス 2」/柴山拓郎「Touch of the Air」/葛西聖憲
「Etude2005」

19:30 Motus acousma コンサート アコースモニウム・ライブ

(カック内はアコースモニウム演奏者)
プログラム:F. ベル「L'Infini du bruit」(オリビエ・ラマルシュ)/D. デュフル「Légende」
(檜垣智也)/B. パルメジアニ「De natura sonorum」(ジョナタン・プラジェ)

会場:日仏会館ホール
チケット:2日間共通券(2月24日、25日)¥1,500円
お問い合わせ:03-5424-1411 e-mail:info@acsm116.com <http://www.acsm116.com/>



これまで芸術音楽、ポピュラー音楽において多くの創造的な音楽家は、ミキシング・デスクが楽器でもあるということをもその作品によって証明してきた。1948年にフランスに誕生したミュージック・コンクレートの現在形である「アコースマティック・ミュージック」も、ミキサーによるマルチチャンネルの定位操作によってリアライズされ、より完成した音像を現わすものだ。空間に配置された音を移動させ、レイヤーを作り、多層的に音響を空間へ投射する「サウンド・プロジェクション」は、ミキサーの操作がすなわち演奏となる。演奏家は楽曲の最良の理解者、解釈者であり、テープあるいはハードディスクに記録されたトラックの音像的、音響的なヴァリエーションをもたらす。24チャンネルのスピーカー・オーケストラ・システム「アコースモニウム」によって、楽曲は時間的、空間的にリアライズされる。それによりわたしたちは、これがライブ＝演奏であることの重要性、必然性に気がつくことになるだろう。

畠中実 (NTT/ICC学芸員)

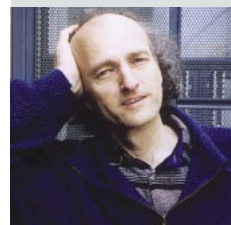
Motus / ドゥニ・デュフル / ジョナタン・プラジェ / トマ・ブランドー

1996年創立のMotusは、SACEM (フランス著作権協会)、DRAC、イル・ドゥ・フランス、パリ市などから助成を得て、年間に100回に及ぶアコースマティック作品の上演コンサートを行っている。アコースモニウム (スピーカーのオーケストラ) と呼ばれる2つの可動式サウンド・プロジェクション・システムを持ち、プロフェッショナルなアコースモニウム演奏家がメンバーとなっている。電子音響音楽コンサートにとどまらず「アンサンプルMotus」がライブや器楽作品の演奏も行ない、コンサート・シリーズやフェスティバル「Futura」や「Syntax」で活躍している。また、音楽教育機関として、マスタークラス、アコースモニウム演奏や電子音響音楽の作曲のアトリエ、レクチャーなどを定期的に開催している。独自のCDラベルで、器楽作品シリーズの「collection Motus > Aujourd'hui」や、アコースマティック作品シリーズの「Motus > Acousma」をリリース、書籍や楽譜の出版も行っている。

Motusのディレクターのドゥニ・デュフルは、パリ国立音楽院卒のエリート作曲家であり、フランスの電子音響音楽ミュージック・コンクレートの代表的作曲家である。1976年から2000年までフランス国立視聴覚研究所・音楽研究グループ (Ina-GRM) のメンバーとして活躍し、作品リストには130曲に及ぶ器楽や電子音響音楽があり、いずれも高い評価を受けている。スピーカーのオーケストラであるサウンド・プロジェクション・アコースモニウムを用いての電子音響音楽演奏法を確立したことで知られる。フェスティバル「Futura」の創始者でありMotusの創立者でもある。ペルピニャン地方国立音楽院の作曲科教授を務める。

今回来日するMotusのメンバーは、作曲家でありアコースモニウム演奏家でもあるジョナタン・プラジェ、オリビエ・ラマルシュや檜垣智也である。リヨンの音楽院で学び、第23回ブルジュ国際電子音響音楽コンクール入賞者でもあるジョナタン・プラジェは、アコースマティック音楽の作曲家であると同時に、シェフェール、アンリ、パルメリアニ、フェラリ、シヨンやデュフルらの約400曲をレパートリーとするアコースモニウム演奏家として活動をくりひろげ、天才インタープレターと呼ばれている。「Piscine à Tokyo-東京のプール」という創作スタジオの創立者でもある。

Motusの芸術監督を務めるトマ・ブランドーはデザイナーであるが、Motusの理念を論じた文集なども執筆している。多くの作曲家がトマ・ブランドーのテキストを用いて作曲しており、2月20日のコンサート「トマ・ブランドーのテキストを用いたアコースマティック作品シリーズ」では、その内の7曲の日本初演が行われる。フランス・キュルチャーやフランス・ミュージックなどラジオ番組制作にも携わっている。



Denis Dufour



Jonathan Prager



Thomas Brando



FUCKALOOP

FUCKALOOP

フレンチ・エレクトロ/ヒップホップのアーティストでありプロデューサーでもあるTACTEELとPARA ONEによって2002年に結成、完全なインプロヴィゼーションによるライブを中心に活動しているユニット。2004年にはSonarフランス版にメイン・アーティストの一つとして出演、またアムステルダムではエレクトロニック・ミュージック・フェスティヴァルでジェフ・ミルズのオープニング・アクトを務めた。FUCKALOOPでのプロデュース作としては、TTCのファースト・アルバム「Ceci N'est Pas Un Disque」とセカンド・アルバム「Bâtards Sensibles」がある。

TACTEEL

フレンチ・ヒップホップ・シーンのワールド・ワイドな活躍における先駆者的存在となったグループ、TTCのデビュー・アルバムにトラックメイカーとして参加した他、イギリスの人気レーベル、LEXから自らの作品を発表するプロデューサー/トラックメイカー。彼のプロデュースした l'Atelier のアルバム「Buffet Des Anciens Elèves」はremix誌にて2003年のベスト・ヒップホップ・アルバムの一枚に選ばれ、その型にはまらないサウンドはフランスのカンパニー・フロウと称された。パリの先鋭的なサウンドを発表するレーベル INSTITUBES のレーベル・オーナー兼プロデューサーでもある。

2月18日～21日会場
東京日仏学院

2月24日、25日会場
日仏会館

